

チャレンジ 山手っ子

佐世保市立山手小学校

所在地 佐世保市山手町16番38号

校長名 山 本 一 臣

児童数 227名

学級数 11学級



1 テーマ 『チャレンジ 山手っ子』

～「人・もの・こと」とのかかわりを通して～

2 目 的

山手小学校は、烏帽子岳を背後に有するやや高台の閑静な環境にあります。その一方で、佐世保市中央部に位置しており、公的施設や商業施設等が近くにあります。地域の方々や保護者は教育に関する意識が高く、学校教育に対しても大変協力的です。

本校教育目標(めざす児童像)は、「心豊かな子ども」「自ら学ぶ子ども」「たくましい子ども」です。この具現化に向けて、「特色ある学校づくり」を以下の3点で行っていきます。

1 「心豊かな子ども」の育成

地域のさまざまな「人・もの・こと」との出会いを通して、たくさんの方々に支えられている自分達を実感し、それらに感謝する心を育てる場を設けます。

2 「自ら学ぶ子ども」の育成

児童の実態を客観的に把握し、その課題に応じた適切な指導を行います。そして、毎日の授業では、児童相互の学び合い活動を通して、自ら考え、判断し、追求することのできるような授業改善を行います。

3 「たくましい子ども」の育成

学校だけでなく校外にも出て、他者との関わりの中で自分を表現できる場を設け、探求的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自分達の身の回りの社会に主体的にかかわっていく態度を養っていきます。

3 実践内容（主な取組）

（１）授業改善による学力充実の推進



授業中の学び合い活動



させば五番街でのパンフレット配布

今年度から2年間、佐世保市教育委員会指定授業改善研究校として、児童の学力向上を目指して研究に取り組んでいる。研究主題を『確かな学力を身につける子どもの育成をめざして』とし、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」と「学び合い活動の仕組み方の工夫」の2本柱で研究を進めてきました。また、朝の時間に行っている「チャレンジタイム」や国語・算数の授業において、学力テストの結果による課題を焦点化した問題を取り入れ、身につけるべき力を明確にした授業を展開しました。そうすることで、学力の定着と学習に対する意欲が感じられるようになりました。

また、総合的な学習の時間の充実にも力を入れ、各学年様々な実践を行いました。特に3年生は、自分達が住む「山手地区」のことを、学校だけでなく地域に出かけて取材し、まとめることができ、学校や地域だけでなく、もっと外への発信もするべく、させば五番街でのパンフレット配布活動まで行いました。

（２）花いっぱい・あいさつ運動の推進



松浦町交差点付近の花壇定植



虹の架け橋プロジェクト

3年生が佐世保市の「美化佐世保プロジェクト」に参加しました。夏にはマリーゴールドやジニア、冬にはパンジーやノースポールを種から育て、200ポットの花を3ヶ月ほど育成し、松浦町国道沿いに7月、12月と定植に行きました。また、あいさつ運動で取り組んだ「虹の架け橋プロジェクト」では、子ども達が、10人の方にあいさつするとシールを貼り、全校で体育館一面に大きな虹ができるほど頑張りました。そして、これからも家庭・地域・学校であいさつをしようという心情を高めることができました。

(3) 地域に密着した教育活動の推進



地区別集団下校



地区懇談会（6月）

「地域の方々・保護者も一緒に集団下校」を年に3回実施したことは、児童の登下校の安心安全を高めるとともに、みんなで地域の子どもを育てようという意識の高揚につながりました。また、地域の方に見守られながら、感謝の気持ちや思いやりの心をもった子ども、ルールを守り安全に生活できる子どもの育成につなげることができました。

また、6月の「心を見つめる強調月間」では、地域との連携を深める意味で、「地区別懇談会」を実施し、地域で子どもを見守る意識の向上にも努めました。



「グループホームサクラ」訪問

6年生は、総合的な学習の時間を活用し、校区内にある老人保健福祉施設「グループホームさくら」を訪問し、交流を深めています。

今年度も2度訪問し、お年寄りの方とお話をしたり、昔遊びをしたりして交流を深め、「思いやりの心」や「やさしい心」を育てました。

○保幼小連携交流①

1年生は、校区内の幼稚園や保育園の園児と交流を深めました。交流会では、園児を玄関で迎えた後、体育館で人数集めゲームやじゃんけんゲームをして仲良くなりました。1年生は、園児との遊びや活動を通して、お兄さんお姉さんらしさを発揮していました。



○保幼小連携交流②

5年生は「桜の聖母幼稚園」を訪問し、一緒に遊んだりお世話をしたりする活動を通して、相手意識をもち、立場を考えて行動することの大切さを考えました。そして、入学してくる1年生のことを考えて、最高学年へ向けての意識を高めました。

(4) ゲストティーチャーによる教育活動の推進



歯の健康教室



メディア講習会

山手小学校では、外部講師による授業を行っています。今年度も、小中連携事業として、助産師による「いのちの授業」、臨床心理士による「思春期講話」を開催しました。また、学校歯科校医による「歯の健康教室」、ドコモから講師を招き、児童や保護者向けのメディア講習会を開催しました。

(5) 栽培体験・食育教育の推進



5年生によるサツマイモ収穫



PTA 主催による食育講演会&味噌作り

山手小学校では、敷地内にあるたくさんの学校園・学級園に四季折々の草花を栽培しています。また、青少年の天地との共催でチャレンジスクールと言う取組の中で、サツマイモ栽培にも取り組みました。

また、PTA とも協力し、食育講演会や親子味噌作り体験会なども開催することができ、食育教育に対しても積極的に取り組むことができました。

(6) 学校ボランティア活用の推進



月に1度、図書ボランティアの皆さんにより、昼休みに読み語りが行われています。大型絵本や紙芝居なども取り入れるなど、工夫し選書をしてくださるので、低学年の児童を中心に、毎月40人以上のたくさんの児童が集まってきます。手作りのしおりやカードをプレゼントして下さり、高学年の児童も参加しています。